



芸術文化観光専門職大学
Professional College of Arts and Tourism

資料5

ハンブルク・エルプフィルハーモニー エデュケーション部門を中心に

徳島文化芸術ホール管理運営計画検討委員会

藤野一夫 2022/7/8



創造都市ハンブルクと「都市への権利」



- 首都ベルリン（350万）に次ぐドイツ第2の都市（170万）
- エルベ川北海河口まで100 kmの河川港
- 14世紀以来ハンザ貿易
- 連邦16州「都市州」
- 州の文化高権、文化分権主義
- 市民自治の伝統 Bürgerschaft = 市議会
- ミヒャエル教会高さ132m
- エルプフィルハーモニー110m

ハンブルク港とコンテナバース



内アルスター湖と市庁舎

1897年 高さ112m 647室



Hafen Cityプロジェクトの位置づけ

- 80年代：港湾産業の構造的不況
- 90年代：ヒンターランドとしての旧東欧地域の回復
→港湾エリアの40%拡張計画
- ハンブルクの都市文化政策の課題：
 - 開発主義とオルタナティブな市民活動のせめぎあいを調整し都市全体を活性化
 - グローバル化による都市間競争に勝ち抜く文化戦略

現在の倉庫街とHafen City



左上：取り壊し前の木造家屋

右上と下：1888年完成の新倉庫街と港



ハーフェン・シティ Hafen Cityプロジェクトの概要

- 中心市街地に隣接（市庁舎から800m）155haの港湾エリアの20年再開発計画
 - 1万2千人の住居 2万人以上の職場
- 住居・文化・余暇・観光・貿易・産業をミックスした巨大市街地
 - ← ニュータウンのモノカルチャーへの反省
- 距離的利便性とウォーターフロントを生かした親水性の快適都市空間
- コンパクト・シティの要件を満たす

Hafen Cityマスタープランの原則

1. 将来的アイデンティティの本質的要素として場所（港、倉庫街等）の歴史を保存
2. オフィス街、工業地帯、大規模団地の一面性、単調さ、硬直性を回避するための、多様で混在的な利用の仕組み
3. 居住性、滞在と余暇のためのクオリティ
→ 広場・公共空間、文化施設の魅力的創造

Hafen Cityマスタープランの原則

4. 都市に必要なヒエラルキー（メリハリ）

→中心部と隣接部、華やかな場所と落ち着いた場所、狭さと広さ、密集とゆとり

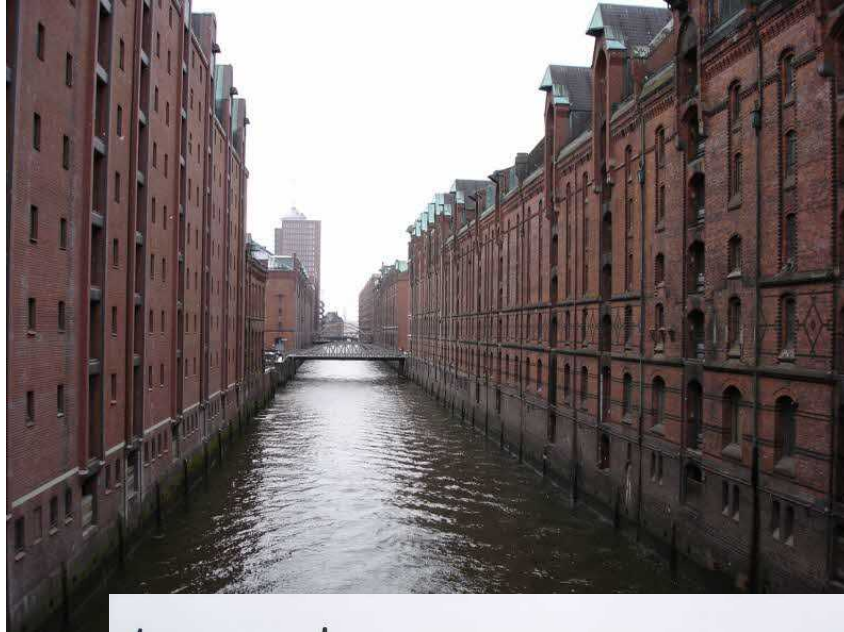
5. エコロジー的、エコノミー的で社会的な持続可能性→エネルギー・物質消費の最小化、資源再生可能性、都市計画構造の耐久性

6. 都市との一体感の感情的形成→文化的・芸術的側面、建築物のクオリティ、公共フリースペースへの細心の配慮が不可欠

Hafen Cityのコンセプト

- 歴史的産業遺産の保存と転用
 - 新しい市民社会モラルの形成
- アートを生かした都市の創造性
 - クリエイティブ産業の誘致と育成
- コンパクト・シティ（職・住・文化のミックス）
- サステイナブル・シティ
 - エコロジー・エコノミー・社会的
 - クリエイティブ・シティとも一致

倉庫街と住居・オフィス混合建築



Hafen City 情報センター 旧ボイラー棟



エルプフィルハーモニー計画

文化都市と市民参加のシンボル

- 「都市の顔」となるシンボル創造の転変

港湾再開発計画「Hafen City」のランドマークとしての埠頭倉庫 A の再利用計画

→2001年コンペで Media City Port案←メディア都市構想の集積オフィス

- エルプフィルハーモニー案への市民参加

→自由ハンザ都市の市民自治とブルジョワ社会の底力

←当初ホール建設費 1 8 7 億円：市補助金 1 2 3 億円 + 個人寄付 6 4 億円 + α を確保

- 当初建築予算の10倍以上に→完成の度重なる延期
- 2 0 1 7 年完成

上：エルプフィルハーモニーの大ホールと模型
下：埠頭倉庫 A 2005年の状況



エルプフィルハーモニー完成図

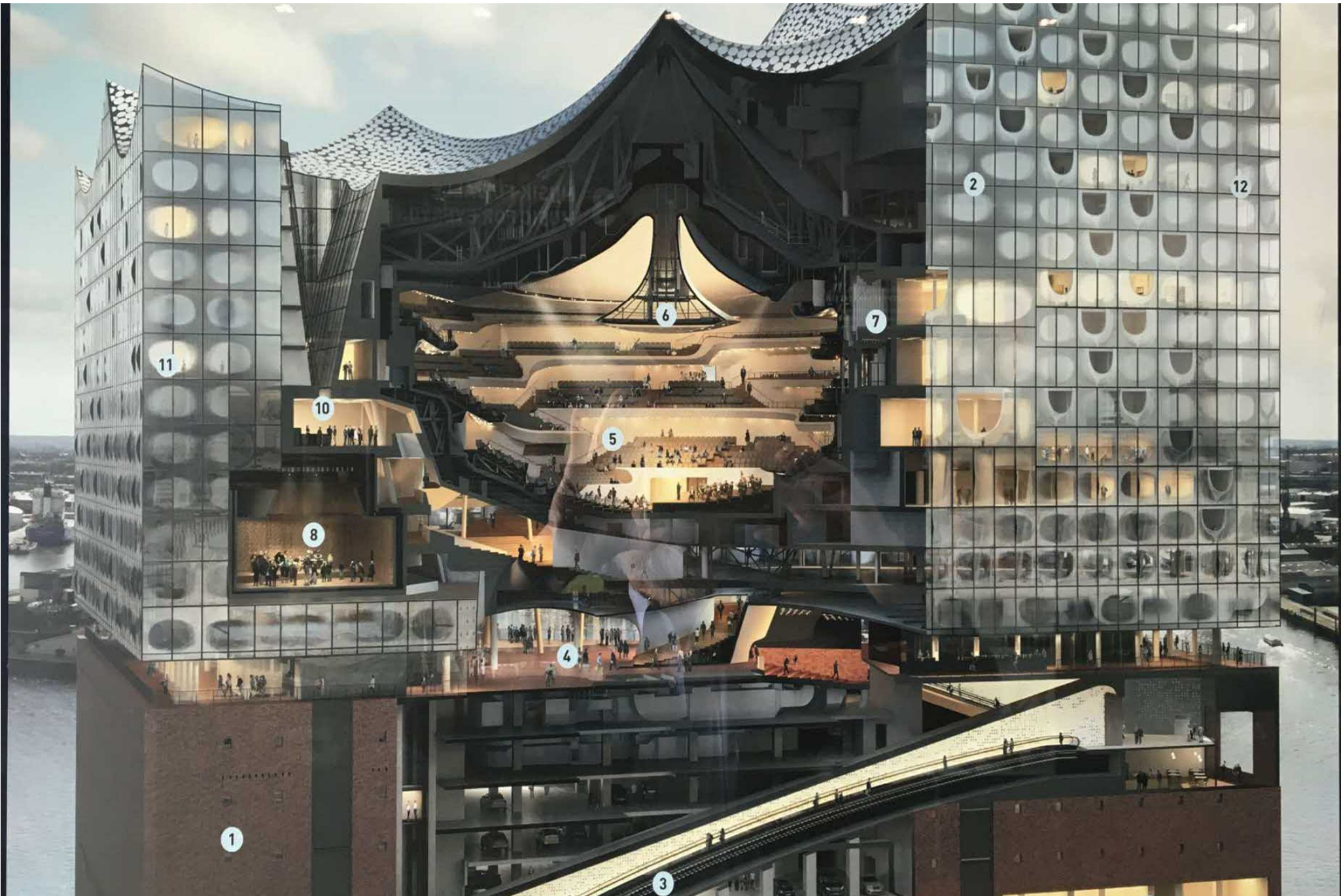


エルプフィルハーモニー2015.9



ハンブルク・エルプフィルハーモニー
2005~2017 (2022.5撮影)





Komplett er

2 Die Fass
Fensterelen
mit einem F
duell bedru
Fläche von

3 Die Tub
82 Meter la
Panoramaf
lange Rolltr

4 Die Platz
Höhe ist als
Außenrundg
Ausblicke a
Gesamtfläc
etwa so gro

5 Der Gro
Der große K
Weinberg-P
die von terra

6 Der Kla
zeltförmige
reflektor für
steigende K
verteilt.

7 Die Org
sowie weite
decke verv

8 Der Kle
steht der kl
und Bestuh

9 Die Kai
Räume für
shops, vor
reichenden
des Hauses
die hier ein

10 Foyer-B
ist das gast
Weitere Bar
Pausen ein

エルプフィルハーモニーの運営体制の三層構造

Cf.ベルリンフィルハーモニー財団

北ドイツ放送NDR

エルプフィルハーモニー管弦
楽団 レジデンツオーケストラ

ハンブルク音楽公益有限会社

gGmbH 自主企画事業、国際音楽祭
教育普及事業等のコンテンツ企画運営

エルプフィルハーモニー&ライツハレ経営会社

GmbH有限責任会社 建物の管理運営

ベルリン音楽祭の会場 フィルハーモニー



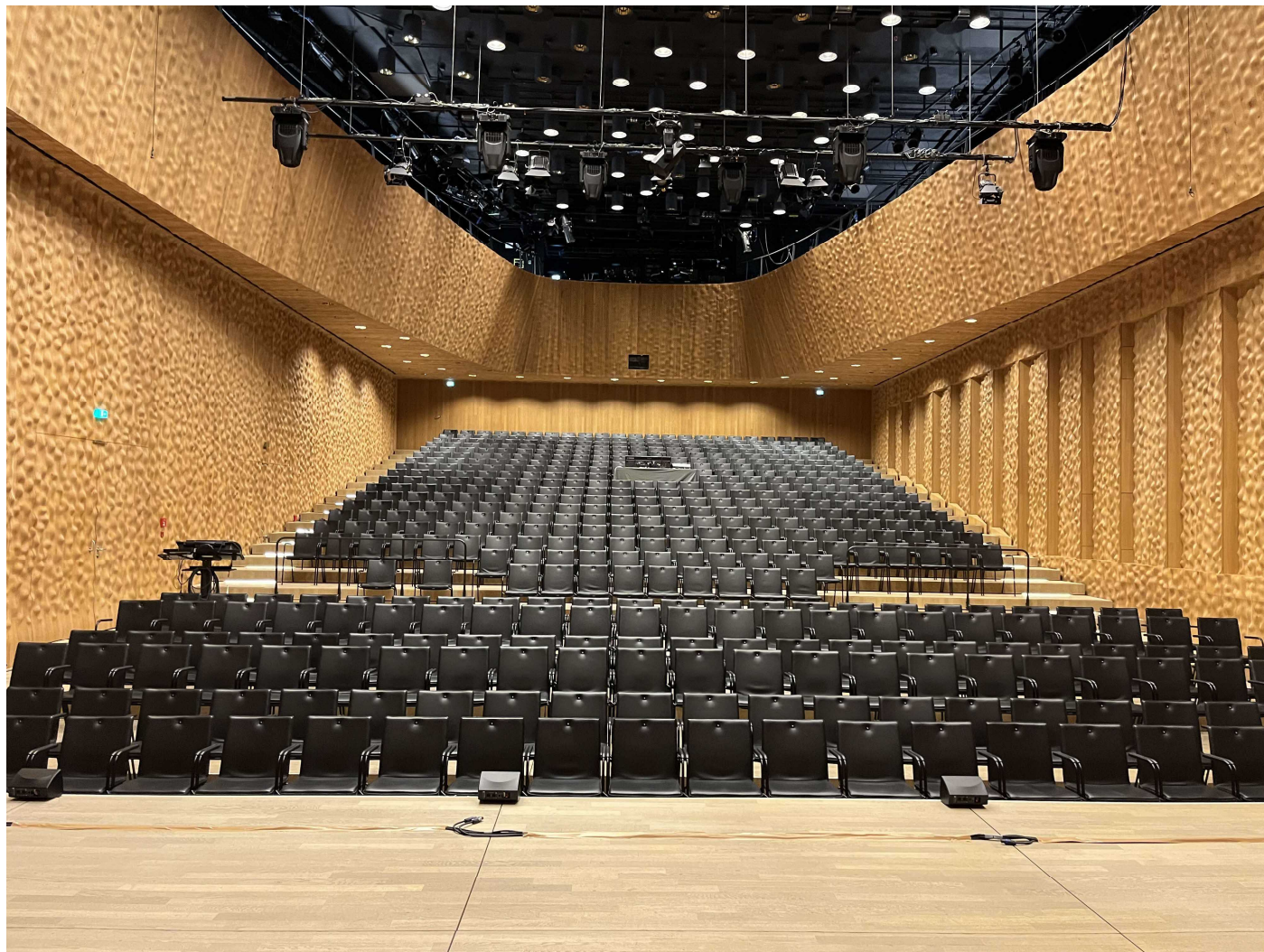
質実剛健型 ベルリン音楽祭 Musikfest Berlin

2014オープニング ドゥダメル指揮 バレンボイム・ピアノ



- 毎年9月にベルリンのフィルハーモニーを拠点に、世界中のメジャーオーケストラが競演
- テーマ性のプログラム構成、室内楽、シンポジウム、プレトークも充実
(オペラの舞台上演は含まず)
- 現代音楽、新作の比率が高い
- 地味だが、ドイツの教養市民層の厚みを実感、質実剛健の音楽祭
- 社交のためでも、教育普及のためでもなく、音楽を純粹に享受し、作品や演奏を議論する聴衆 = 公共空間
- エリート主義? ドイツの文化政策として必要不可欠、大半は公的助成金

エルプフィル 小ホール 床面可変式 木彫の壁面



2015席のワインヤード型大ホール 音響設計は豊田泰久



大ホール of 壁面 再生紙と特殊な土を混ぜ、適切に乱反射する壁面の彫琢
白い肌ではなく、甲殻類をイメージ





無人時と満席時の音響が変わらないように
実験・設計された客席の布と形態

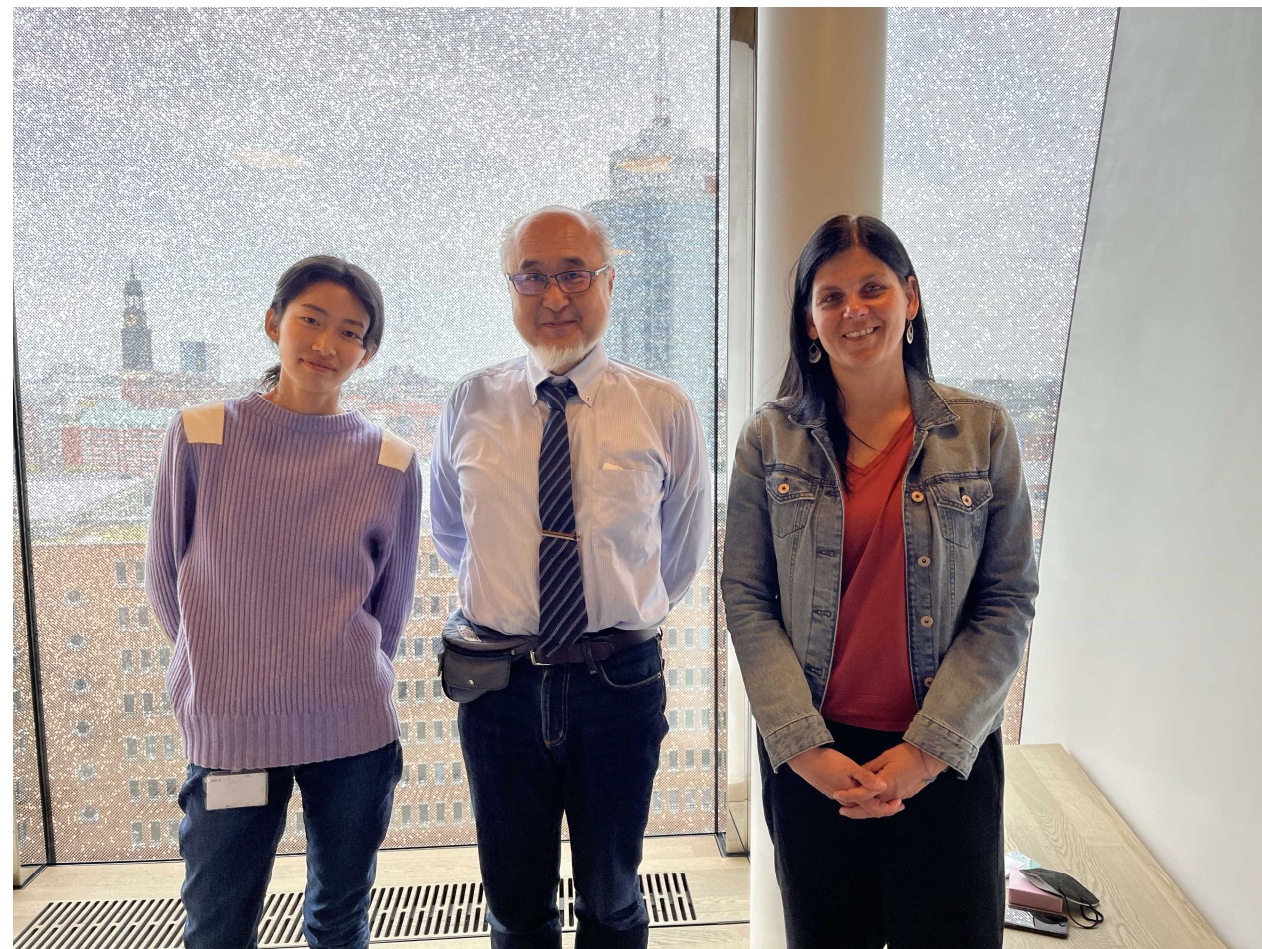
世界で唯一無二の特注の電球



音楽エデュケーション（教育普及）部門のオフィス 職員27名
エルプフィルへのインリーチとハンブルク市内の社会文化センター、学校、保育園
などで年間1000回アウトリーチ等を実施



エデュケーション部長のアンケ・フィッシャーとインターン カンティーン



音楽エデュケーションのワークショップでは世界の音楽・楽器を紹介 ガムランオケだけで2セット（2部屋）



音楽アウトリーチ・ワークショップの楽器・用具倉庫



ハンブルク州立歌劇場の正面と舞台裏の施設群



ハンブルク州立歌劇場「タンホイザー」 2022.5.8



カンブナーゲル劇場1998~旧鉄工所を文化施設にリノベーション

